

## 〈高等学校アイデア4〉

高等学校第1学年「データの分析」

目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択し、コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりして分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現するアイデア

ねらい

既習の知識を利用して、より一般的な探究を行う。

試合において、戦術A  
を使うことは有効か、探  
究します。

日常生活や社会の事象



複数の「質的データ」や「量的データ」が紐付けられた  
複数の種類のデータを収集する



学んだことを振り返り活用・発揮



適切な手法を選択して分析し，問題解決する



データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力の育成

表や式, グラフの基礎的事項は, 中学校で学習しています。

	勝	負
使用する	65%	35%
使用しない	49%	51%

二次元表に整理すると, 判断しやすくなります。  
戦術Aを使用した方がよさそうに見えます。

それ以外のデータで並べてみます。

	勝	負
1 学年	26%	74%
2 学年	77%	23%

戦術の使用の有無より、学年の違いの方が影響が大きいのではないのでしょうか。

		勝	負
使用する	1学年	3人	4人
	2学年	8人	2人
使用しない	1学年	12人	38人
	2学年	32人	10人

(度数を見ることで)そもそも戦術を使用している人が少なかったのではないのでしょうか。

ヒント 資料の見せ方で印象は操作されます。

勝敗に，戦術の使用の有無は関係あるでしょうか。

質的データ間の関係を数学的に表現することはできないでしょうか。

今後，ゲームを行う際に特定の戦術を使用すべきだと主張できるでしょうか。

勝敗を決定する他の要因を，可視化できるでしょうか。